

平成30年度 磐田市立岩田小学校 学校評価書

*「A=かなり当てはまる B=まあ当てはまる C=あまり当てはまらない D=ほとんど当てはまらない」として各自が評価

重点	目標・取組	評価指標(教師側の表現)	自己評価	A+Bの%	考察・改善策	学校関係者評価委員から	備考
学び合う子	「授業の内容が分かる」95% 「分からないことをそのままにしない」90% ☆聴く力の育成 ☆子ども同士が学び合う授業	1 子どもは、授業の内容がよく分かっている。	児童 保護者 教員	97 88 100	○「分からないことをそのままにしない」ために、分からないことを「分からない」と、素直に言える学級づくりが大切である。まじめに取り組むよさを生かしながら、子どもの実態に応じた課題や問いを設定した授業を進めていく必要がある。また「家庭学習の手引き」を活用することで、学年に応じた学習の仕方を学び、学習習慣が身に付くよう働き掛けていきたい。 ○「自信をもって自分の考えを発言する」ことは、今後ますます重要になっている。子供同士の「学び合う」関係づくりを大切に、子どもの主体性を高めていくためにも、教師の一斉指導から、子どもの疑問・問いから始まる授業を一層進めていく必要がある。言い換えれば、授業の改善が急務の課題である。	・実社会に出て一番困ることは、指示をされないことと動けないことであると感じる。自分から興味を持って調べる経験を小学校の段階で多く積んでほしい。 ・実社会で生きて働く力とするためにも、その時々で身に付けるべきことは、確実に指導してほしい。	磐田市 共通
		2 子どもは、授業が楽しいと思っている。	児童 保護者 教員	93 88 100			磐田市 共通
		3 子どもは、分からないことをそのままにしないで、教師に聞いたり、自分で調べたりして解決している。	児童 保護者 教員	85 72 67			磐田市 共通
		4 子どもは、自信をもって自分の考えを発言している。	児童 保護者 教員	83 74 78			磐田市 共通
		5 子どもは、家庭学習の習慣が身に付いてきている。(「家庭学習の手引き」にそって)	児童 保護者 教員	93 82 78			磐田市 共通
		6 子どもは、外国語活動の授業が楽しいと思っている。	児童 保護者 教員	90 89 89			磐田市 共通
		7 自分は、個に応じた細かな支援・指導をしている。	児童 保護者 教員	97 93 89			磐田市 共通
笑顔いっぱい 夢いっぱい 仲良く助け合う子	「自分のよさを1つ言える」80% 「友達のよい行いに気づき、自分もやろうとした」90% ☆自己肯定感の向上	8 子どもは、学校に楽しく通っている。	児童 保護者 教員	92 92 90	○「学校が楽しい」「自分のよさ」「子ども理解」の項目で、児童・保護者・教員ともに高い評価となっている。その一方で、学校生活を楽しく感じていない子どもが10人(約8%)いる事実がある。この事実を学校は謙虚に受け止める必要がある。毎学期の「心のアンケート」だけでなく、日ごろから子どもたちの様子をよく見つめ、必要に応じどういう悩みをもっているのかを聞き、その子に応じた働き掛けをするなど、積極的な子ども理解に努め、誰もが楽しい学校生活を送れるようにしていかなければならない。 ○「あいさつ」は、児童・保護者・教員で評価の差が生じている。登下校の様子を見て「進んで」あいさつをする子どもが多く見られないと感じる。PTA活動、学府(小中合同)でも年3回あいさつ運動を行っているが、学校でも子どもの側からあいさつをより盛んにするための取組を考え、実践化していくことで、あいさつに対する意識を高め、習慣化を図っていきたい。	・子供たちの心を育てるためには、家庭の教育力を高める必要がある。実体験を通して学ぶことは多くある。また、自分から手伝いをするので、決めたことを続ける粘り強さも身に付くのではないかと。 ・子供のよさを認めることは大事であるが、それと同時に、本人が納得できるように、機を逃さずに叱ることをためらわないでほしい。	磐田市 共通
		9 学級や学校には、お互いにルールを守り、協力する雰囲気がある。	児童 保護者 教員	95 83 100			磐田市 共通
		10 子どもには、学校に相談できる人がいる。	児童 保護者 教員	89 89 89			磐田市 共通
		11 子どもは、自分の良さを1つ以上言うことができる。	児童 保護者 教員	92 95 100			磐田市 共通
		12 子どもは、家庭や地域で進んであいさつをしている。	児童 保護者 教員	98 87 78			磐田市 共通
		13 子どもは、友達の良さに気づき、自分も取り入れようとしている。	児童 保護者 教員	92 85 89			磐田市 共通
		14 自分は、子どものことを理解し、指導にあたっている。	児童 保護者 教員	94 94 100			磐田市 共通

心も体も健やかな子	<p>「自分に合った目標を立て、運動に取り組めた」90%</p> <p>「自分に合った目標を立て、健康で安全な生活を送ることができた」90%</p> <p>☆目標に向けてねばり強く運動する態度の育成</p> <p>☆自分で判断し、健康で安全な生活を送ることができる子の育成</p>	15	子どもは、自分に合った目標を立て、運動に取り組んでいる。	児童 保護者 教員	90 87 100	<p>○体力テストの実態から、投力に課題があることが分かったため、今年度は年間を通してドッジボールラリーの取組を行うようにした。その結果、体力テストにおいて数値の向上が見られ一定の成果があった一方、走力や持久力に課題があることが分かった。</p> <p>○本校が長年取り組んできた一輪車への取組を中心にしつつ、時期に応じた運動(水泳・持久走・短縄跳び等)を確実に行うことで、体力の向上や粘り強く運動する態度を育成するとともに、体育の時間に一定時間走る運動を取り入れることで、課題の解決を図っていききたい。</p>	<p>・持久走大会が再来年以降、実施されなくなったとしても、子供に十分な体力や持久力を身に付けさせてほしい。</p>	
		16	子どもは規則正しい生活を心掛けている。	児童 保護者 教員	95 88 89			
		17	子どもは、自分に合った目標を立て、健康で安全な生活を送っている。	児童 保護者 教員	92 87 89			
開かれた学校	<p>○信頼にこたえる</p> <p>・向陽学府小中一貫教育</p> <p>・コミュニティ・スクール(地域と目標・育ちを共有)</p>	18	子どもは、今住んでいる地域の歴史や自然について関心がある。	児童 保護者 教員	81 85 89	<p>○学校で目指す子どもの姿や教育方針を広く伝え、理解を得られるようにすることは大切である。良いことだけではなく、課題も保護者と共有することが、子どもが安心して登校するためにも、改めて大事であることが分かった。学校と保護者、保護者同士が顔を見て話ができる懇談会等では、互いの考えが交換できるよう場を工夫する必要がある。</p> <p>○「住んでいる地域の歴史や自然への関心」の項目で、児童の評価が低い。各教科で地域の歴史や自然について学習していることを「自分とのつながり」をもとに捉え直し、地域の人々や自然環境、行事などに主体的に関わっていかせることで、子どもが地域のよさを再認識できるようにしていきたい。</p> <p>○本校は、地域の方々の御支援や御協力により、豊かな体験活動に取り組むことができている。来年度に向けて「総合的な学習の時間」を中心に取組んでいる年間の活動を見直し、学年のテーマに沿った探求的な学習を進めていく。</p>	<p>・会礼での校長の話は読んでいて大変参考になる。より広く地域の方に学校の考えを知らせていけたらよいと思う。</p> <p>・子供は地域で根付き育っている。地域自体を知らない保護者が多くなってきているのも、要因として挙げられる。</p> <p>・学校の活動をより充実させるために、地域の団体に協力を要請してみたらどうだろうか。</p>	磐田市 共通
		19	学校で目指そうとしている子どもの姿や教育方針について知っている。	児童 保護者 教員	83 85 89			磐田市 共通
		20	学校は保護者や地域の人に、授業や行事等、学校の様子を参観する機会を設けている。	児童 保護者 教員	98 100			
		21	子どもは、自分の将来に対して夢や希望をもっている。	児童 保護者 教員	89 95 100			
		22	子どもは、「笑顔いっぱい 夢いっぱい」の子に育ってきている。	児童 保護者 教員	96			